

島根大学教育学部附属幼稚園 泥団子作りで行うSDGs教育【6/13】
幼稚園で「泥団子作り教室」を行う中で、「環境意識」を向上させる実践をします

◆本件のポイント！

- ・松本一郎教授(島根大学教育学部)による、園児への泥団子作りを通したSDGs教育を実施
- ・どこの幼児教育施設でも行っている泥団子作りを、SDGsの視点で再構成し、幼稚園の土はどこから来たのかという土壌教育を通して、「環境意識」を高めていく
- ・“幼稚園でのSDGs教育”を研究対象として、「木育」とあわせて行っているのは日本でも希少な取組

◆本件の概要

島根大学教育学部附属幼稚園は、6月13日(火)に「泥団子作りで行うSDGs教育」を実施します。

国立大学の附属である利点を活かし、各報道機関でSDGs解説をしている本学教育学部 松本一郎教授(地学)が子どもの遊びである泥団子作りをSDGs視点で園児へ講義します。「幼稚園の土はどこから来たのか」「どう工夫すると硬い泥団子が出来るのか」等の実践を通して園児の「環境意識」を高めることを目標とします。

今、社会的な課題となっているSDGsというテーマを、幼児期から体験を通して学べる実践を研究対象として明らかにしていくのは、日本でも希有の取組です。また、今後、この取組に関する教員向け研修会も予定しています。



昨年度の泥団子実践の様子



昨年度の泥団子実践の様子

◆概要内容

【日時】令和5年6月13日(火) 9:30-11:30

【場所】島根大学教育学部附属幼稚園 園庭

(〒690-0882 島根県松江市大輪町416-4)

【主催】島根大学教育学部附属幼稚園、松本一郎教授(島根大学教育学部)

◆本件の連絡先

島根大学教育学部附属幼稚園(担当:副園長 太田 泉)

TEL:0852-29-1120 FAX:0852-29-1124